

平成22年2月4日

各位

上場会社名 朝日放送株式会社  
 代表者 代表取締役社長 渡辺 克信  
 (コード番号 9405)  
 問合せ先責任者 経理局長 沖中 進  
 (TEL 06-6458-5321)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	75,000	1,400	1,400	1,100	262.95
今回発表予想(B)	75,800	2,100	2,200	1,400	334.67
増減額(B-A)	800	700	800	300	
増減率(%)	1.1	50.0	57.1	27.3	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	80,284	△179	△150	△2,540	△607.30

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	63,500	800	700	700	167.33
今回発表予想(B)	63,800	1,200	1,200	900	215.14
増減額(B-A)	300	400	500	200	
増減率(%)	0.5	50.0	71.4	28.6	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	67,517	△1,151	△1,200	△2,839	△678.88

## 修正の理由

日本経済は、一部で景気の持ち直し傾向が見られるものの、雇用情勢が悪化し個人消費が低迷するなど依然として厳しい状況で推移しております。

放送業界におきましても広告出稿量が前年同期の実績を下回り、当社グループではテレビタイム収入などの売上高が前年同期の水準を下回る極めて厳しい状況が続いております。しかしながら、主力のテレビスポット収入に関しましては第3四半期以降に回復の兆候が見られはじめ、永らく続いた売上高の減少に下げ止まりの傾向が現れてまいりました。

当社グループにおける通期の業績予想につきましては、収入面ではテレビスポット収入が当初見込を上回る水準で推移していることにより、連結、個別ともに前回発表の業績予想を上回る見通しです。また、費用面でも業務改善による営業費用の大幅な圧縮が見込まれるため、営業利益、経常利益および当期純利益についても、連結、個別ともに前回予想を上回る見通しです。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上